

今後の展望

摺上山から端を笈し山間の急流を経て平野部に至る摺上川の流れは、洪水によりたびたび流れを変え、広大で肥沃な土地を形成しました。

その肥沃な土地を耕作したい住民と、関ヶ原の戦いに敗れ滅封された上杉藩により西根堰が開発され、広大な農作地の開発が進み、今もなお豊かな農作物を得ることができます。

摺上川ダム completion以降、飯坂町では洪水被害が減少し、供給される水道水は大変おいしく、安心・安全な市民生活と事業活動を支えています。

一方で洪水が減少したことにより、それまでは洪水のたびに流されていた中州や川原に雑草・雑木が生い茂り、十綱橋周辺の景観が悪化しています。

住民組織からも河川管理者(福島県県北建設事務所)へ除草・伐採の要請をしており、順次河川敷地の整備を行うようですが、引き続き管理者への要望を続ける必要があります。

かつて摺上川は東西の交通を隔てる難所で、明治以降に完成した摺上橋は洪水により流され、大正15年に現在の十綱橋が完成した後は、改修を繰り返しながら現在に至ります。

観光客や物流の増化に伴い、新十綱橋や国道399号線バイパス等がつくられました。

また、福島市都市計画見直し案(令和3年5月福島市都市計画課)によると、花水坂駅南側の福島交通飯坂線の線路と摺上川を越えて湯野に抜ける国道399号線バイパス計画は存続されているということですが、具体的な着工日は未定ということで、今後もしばらく十綱橋は東西の交通の要所となるようです。

近年には新たな高速道路インターチェンジの完成と道の駅ふくしまの開業、来年12月以降には東北最大規模の大型ショッピングモールが伊達市にオープン予定となり、飯坂温泉街への集客も期待されます。

豊かな水源である茂庭地区と摺上川(ダム)、その水源を活かす土木遺産西根堰、国登録有形文化となった十綱橋を大切な地域資源として保全し、かつ安全な通行を守るために、広域の状況変化や都市計画を踏まえ、管理者や自治体と住民による共創の場が必要です。

今後も引き続き、ゴミ拾いや除草など環境美化活動や調査研究活動を、関係機関や団体と協力して進めてまいります。活動に関する情報はホームページやSNSにて発信してまいりますので、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

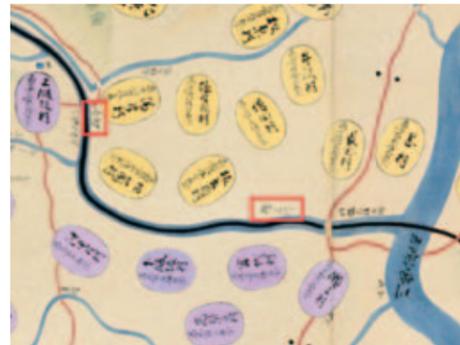
※2…国立公文書館デジタルアーカイブ「天保絵地図」より(<https://www.digital.archives.go.jp/>)

※3…十綱橋百年記念事業実行委員会制作「十綱橋」より

※4…福島市都市計画見直し案(福島市都市計画課 令和5年3月)より[a.fukushima.jp/machizukuri/toshikekaku/plan/index.html](http://a.fukushima.jp/machizukuri/toshikekaku/plan/index.html)



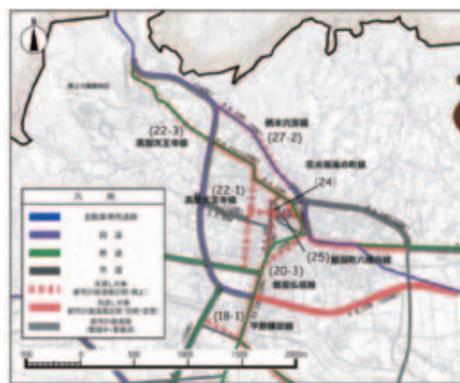
西根堰と周辺の農地



19世紀の飯坂町周辺の地図※2



明治時代に完成した摺上橋の錦絵※3



福島市都市計画見直し案※4



# 摺上川を活かして描く 未来のまちプロジェクト 報告書

vol.1

福島市飯坂町の大切な地域資源である摺上川と、その川をまたぐ「十綱橋」の保全と利活用について考えることを目的とした活動の報告書です。

お問い合わせ 特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ  
〒960-0201 福島市飯坂町湯沢26番地 電話: 024-529-6125

アンケートの詳細内容はホームページをご覧ください▶



## はじめに

NPO法人いざかサポーターズクラブは、福島市飯坂町でまちづくりの活動を行う非営利団体です。空き店舗を活用したカフェの運営や、地域資源を活用した観光プログラムの開発、子どもの外遊び支援等、様々な活動を通して地域の活性化を行っています。

## 本事業の経緯・目的

当法人は摺上川ダムを中心に、カヤック体験や川遊び体験、イベント実施等、様々な河川に関する活動を通じ、国土交通省東北地方整備局と連携する機会が増え、2015年に全国で45番目となる河川協力団体<sup>\*1</sup>の指定を受けました。

摺上川は福島市の北部飯坂町茂庭に端を發し、阿武隈川に合流する延長約32kmの一級河川です。平成17年に完成した摺上川ダムは、福島県県北地域に水道・農業・工業用水を送る大切な水源となっています。

摺上川の橋脚「十綱橋」は、古来より現在に至るまで交通の要所であり、同時に国内最古の鋼製アーチ橋として、土木学会選奨土木遺産ならびに国登録有形文化財に認定された必要な地域資源です。

飯坂温泉街は、摺上川沿いに並ぶ宿泊施設を中心に形成されており、街の玄関口である福島交通飯坂温泉駅改札を出ると、眼前に摺上川が流れ、その川をまたぐ十綱橋の風景は、飯坂温泉のシンボルとなっています。

本事業では、飯坂町を縦断して流れる摺上川と、その橋脚「十綱橋」をあらためて重要な地域資源ととらえ、有効に活用するため調査・研究を行い、将来にわたって地域資源を保全し、次世代に引き継ぐことを目的としています。



<sup>\*1</sup>河川協力団体…河川管理者が、河川の維持や保全活動等を行う民間団体を協力団体として指定し、地域の実情に応じた河川管理の充実を図ることを目的とした制度

## 本事業の内容

### 1 摺上川・十綱橋でのフィールドワーク

摺上川ならびに十綱橋の現状を知るため、いずれも管理者である福島県県北建設事務所より職員の方をお招きし、住民の方と一緒にフィールドワークを行いました。また、フィールドワークでは、摺上川から阿武隈川に至る農業用水路を管理する西根堰土地改良区の職員の方からもお話をいただきました。

【日時：令和5年8月21日 会場：飯坂温泉駅前 参加者数：9名】



フィールドワークの様子

### 2 ゴミ拾い大作戦の実施

摺上川・十綱橋の課題を抽出することを目的に、広く一般に周知した参加者の方々と、摺上川・十綱橋ならびに周辺のゴミ拾い活動を行いました。

【日時：令和5年10月29日 会場：飯坂温泉駅周辺 参加者数：28名】



ゴミ拾い大作戦の様子

### 3 アンケートの実施

ゴミ拾い大作戦に参加された方々ならびに、飯坂町住民の方に対して、摺上川・十綱橋に関するアンケートを徴収し、課題を整理しました。アンケートは、それぞれが感じている課題を、生の声でお聞かせいただけるよう自由記述としました。

【期間：令和5年11月24日～12月9日 回答者数：36名】

## アンケートの結果

### 【摺上川】

摺上川について、特に十綱橋の直下は、西根堰の取水のために流れが穏やかであることから、川底に泥が溜まり、河川敷に雑草や雑木が生い茂り、景観を損ねていることについての意見が多くありました。

加えて泥が溜まることにより、夏場は蚊や虫が大量に発生することが問題点としてあげられました。

また、温泉施設からの排水(湯)や、駅前広場や橋・道路からの投棄あるいは上流から流れてきたゴミにより、景観を損ねている点についての意見も多くみられました。

### 【十綱橋】

十綱橋については、歩道が狭く歩行者が危険であるという意見が最も多くありました。特に冬季は雪により滑りやすく危険性が指摘されています。

また、景観についても歩道が狭いことからゆっくり歩いて川を眺めることが出来ないことや、ライトアップを希望する意見もあり、かつて十綱橋に設置されていた街灯を懐かしむ声もありました。

## アンケート年代

